

高槻の魅力再発見 Vol.4 このまちで暮らす理由

今回のテーマ：暮らしの支え

日々の生活で実は気付いていなかった高槻での暮らしの価値。子育てや教育、健康・医療などの6つのテーマで市の魅力を深掘りします。

問合せ 観光シティセールス課／Tel.674-7830

ID 184335

CIVIC PRIDE®
RANKING 2025

全国総合3位

高槻市

※全国の住民人口10万人以上の278自治体居住者（20～64歳）に読売広告社都市生活研究所が調査。市民が誇りに感じるまち全国3位に

WEBアンケートを実施

「良いと思う暮らしの支え施策」は？

地元のお店応援券は

いろんなお店で使えて便利

かなりお得。

家計としても助かるし、
生活の彩りにもなる

水道料金の
基本料金無償化は
とても助かっている

地元のお店応援券で
普段行かないお店に
行くようになりました

地域の福祉活動にも
支援があることが
うれしい

育ち盛りの子どもが
いるので、給食無償化や
お米の給付はとても
ありがたい

地元産米の配布は
生産者も支援していて、
税金の使い道として
大変納得感がある

人気施策を
解説

家計を支える支援が高評価

地元のお店応援券



市内全世帯が購入可能な応援券の発行は今年度で8回目。市民の家計や市内事業者を支援

水道料金の基本料金を無償化



家庭用（口径25mm以下）水道料金の基本料金を4月検針分から1年間無償化

地元産米の配布



高校生のいる家庭や児童扶養手当の受給世帯へ地元産米（5kg）を給付（直接郵送）

地元のお店応援券
約93億円の利用実績

第7弾までの利用実績は約93億円で、市内の消費喚起や地域経済の活性化につながっています。

アンケート結果では「家計の助けになった」という多数の声が。また「普段行かないお店に行くようになった」といった意見もあり、地元の店を知るきっかけにもなっています。



事業者などへの支援にも
多くの支持が

家計への直接的な支援でなくても、市民が受けるサービスの継続や地域全体の安心につながる支援に対して、評価する意見が多く見られました。

①地区福祉委員会の活動を支援

高齢者の食事や交流の場を守るために必要

②JAたかつきとともに販売農家を支援

生産者を支援することで生活の安定につながる

③医療機関・薬局などへの支援

なくなっては困るものへの支援は大事